

★子育て支援で広がる^わ話



1・2歳対象の「ちびっこ広場」

子どもの接し方、あやし方の分からない保護者。子どもと2人きりで過ごす時間が長く社会から疎外感を感じている保護者が年々増えています。そのため、親子で安心して遊べる場の提供や職員に気軽に相談できる関係作りに心がけています。また、児童センターに来館することで気分転換ができ、子どもを通じて保護者同士のつながりの **話** が広がるよう見守っています。

★健全育成講座で高めあ^わう我



「ちよつと・ステップアップ講座」

子育て中の方、子育てに関わる方を対象にした5回の連続講座。子育ての内容が中心ですが、身体を動かしてリフレッシュするものや趣味的な内容も講座に取り入れています。たくさんの応募があり、参加者の方は毎回、

熱心に受講されています。今の自分（**我**）より少しステップアップすることを目指し、楽しみながら受けられる講座を提供しています。

わわわわわ 話我和の輪

子ども

家庭

地域

子ども、家庭、地域が手をつなぎ、**和**を大切にし、大きな**輪**になるように!!

★遊びを通してひびきあ^わう和

ゲーム機、スマホが手放せない子、友だちより職員と関わりたい子等気になる子が増えてきています。子ども達が児童センターで楽しく過ごせるよう月ごとに遊びをかえたり、季節の行事を取り入れるなど、遊びの工夫を心掛けています。また、友だちとの関わりが苦手な子も多く見受けられます。職員が見守りながら仲立ちとなり、遊びを通し友だち同士の **和** が広がるよう働きかけています。好きな遊びがある、好きな友達がいる、好きな先生がいる、そんなセンターを目指しています。



脱出ゲームの一場面

★各種クラブ・講座で深まる^わ輪

外で遊ぶ機会が少なくなり、手先の不器用な子や体の動きのぎこちない児童が増えています。そのため、楽しみながら指先を使う折り紙クラブ、運動機能向上のための各種のクラブがあります。また、「おもしろ教室」の講座では子ども達の不思議に思う気持ちや興味に合わせた内容でおこなっています。

これらのクラブや講座を通し、子ども達が自己の力を発揮し、子ども同士のつながりの **輪** が深まるよう援助しています。



「おもしろ教室」
バルーンアートに挑戦



平成26年度 あじおか児童館
(ぱるもあじおか)
5つの理念で運営
「遊ぶ楽しさを共に体験
友だちの輪を広げよう」



○地域運営協議会の開催

① 地域ぐるみで育ち合う児童館

- ・地域で支え合う運営の仕組みの地域運営協議会の開催。
- ・地域サポーターによるイベント（サマーフェスティバル等）への支援。
- ・地域の協力による児童館だよりの回覧実施。
- ・地域のおやじの会、更正保護女性会、子ども会との連携。



○子ども会との連携

② 多世代で育ち合う子育て支援

- ・親子でふれあう「えいごであそぼ」「がっきであそぼ」「リトミック」の開催。
- ・お母さん方の交流の場としてのニコニコランドや赤ちゃんサロン、パパ会の開催。
- ・ベビーマッサージの開催。
- ・読み聞かせの「お・は・な・し」や読み聞かせグループによる「本とあそぼっ!」の開催。



○サポーターの読み聞かせ

③ 中高生の集い使える児童館

- ・中学生19:00、高校生21:00までの学習室、音楽スタジオの利用。
- ・中高生ボランティア、サポーターのイベント等への参加・協力。
- ・ジュニア奉仕団による日常の児童館活動への協力。
- ・地域サポーターによるサマーナイトスクールの開催。



○赤ちゃんサロン/パパ会

④ 多文化共生できる児童館

- ・ポルトガル語やスペイン語の翻訳版児童館便りの発行。
- ・インターナショナル遊びの開催。
- ・ポルトガル教室の開催。



○中高生の学習室の利用

⑤ 社会教育を担う児童館

- ・食育の展開としての「キッチンキッズ」や「まんじゅうづくり」の開催。
- ・地域の自然愛護の心を育む「ぱるもあガーデンづくり」の開催。
- ・作って遊ぶ「クラフトルーム」の開催。
- ・職業人体験学習や関連機関講座受講生の受け入れ。
- ・ホームページによる情報発信。



○まんじゅうづくり



平成 26 年度 しのおか児童館

5つの理念で運営

「児童館で遊ぼう・楽しもう」

「地域と共に育ち合う児童館」

1) 地域ぐるみで育ち合う児童館

- ・地域運営協議会が支える地域運営の仕組み。
- ・児童館まつり、夏まつり、もちつきなど、地域おやじの会によるサポート。
- ・篠岡小学校、中学校の校地を借りて、「きもだめし」の開催。
- ・桃ヶ丘小学校、篠岡小学校の総合学習への協力、連携。
- ・篠岡たんけんカルタを使つてのカルタとり大会の開催。

2) 多世代で育ち合う子育て支援

- ・毎月開催「えいごであそぼ」「楽器であそぼ」「アートであそぼ」「リトミック」
- ・毎週開催「赤ちゃんサロン」お母さんたちの交流の場。
- ・ベビーマッサージの開催。
- ・子育て相談員を配置し、子育て支援、相談業務を強化。
- ・新企画、幼児親子を対象とした「ハローイングリッシュ」の開催。

3) 中高生の集い使える児童館

- ・21 時までの夜間活用（中学生は 19:00 まで、高校生は 21:00 まで）
- ・篠岡中学校ジュニア奉仕団の活躍。
- ・児童館まつり、きもだめしの中学生ボランティア。
- ・篠岡中学校吹奏楽部のニューイヤーコンサート。
- ・高校生の学習室利用の増加（昨年比約 2 倍）。

4) 多文化共生できる児童館

- ・ポルトガル語、スペイン語の翻訳版児童館だよりの発行。
- ・「インターナショナルあそび」の開催。

5) 社会教育を担う児童館

- ・食育の展開として、「キッチンキッズ」の開催（地域サポーター）。
- ・作ってあそぶ「クラフトルーム」の開催。
- ・館庭を使った「わんぱくクラブ」の開催。
- ・父母クラブ主催の「人形劇」の開催。
- ・毎月「コンサート」の開催。
- ・ホームページによる情報発信。
- ・篠岡中学校の「職業人体験学習」の受け入れ。

6) その他

- ・一輪車あそび、ドッジボール大会など館庭の有効活用。
- ・子育て支援室の利用者増加（一日平均平成 25 年度 11 名→平成 26 年度 21 名）。



○父母クラブ主催による人形劇



○子育て支援赤ちゃんサロン



○英語講座 ハローイングリッシュ



○館庭でのドッジボール



○小学校の総合的な学習への協力



○地域と連携した児童館まつりの開催



○毎月開催のサンデーコンサート

平成26年度 小牧児童館現状報告

- ・遊びを通して仲間の大切さを知る。
- ・友達と輪を広げ楽しく遊ぶ
- ・楽しく過ごしていただける居場所づくり

子ども達は児童館を遊びの待ち合わせ場所として利用し、ホームページをご覧になり遠方からも約束をされ来館される利用者親子も見受けられるようになりました。「来てよかった！」「何だかホットできる！」という頂けるよう職員みんなで取り組んでいます。

《子育て支援室の充実》

こどもの成長に合わせた広場の充実、親子で安心してあそべる支援室では常駐した職員により、身近な相談相手として気軽に話ができる、家庭的な雰囲気づくりに心がけています。母親同士の交流の場のなかから情報提供や紹介もあり心地よい、ゆったりとくつろいで頂ける、安心安全な居場所づくりを提供しています。また、先輩ママ達のアドバイスを聞きながら、同じ悩みを持つママたちが楽しく子育てができるよう、集まれ双子ちゃん！を開催しています。



《保健センターには》

小牧児童館の「児童館紹介のチラシ」を作成し赤ちゃん訪問時に配布していただくよう依頼しています。

《隣接する保育園との交流》

保育園のイベント・行事、また支援室と児童館を利用いただいています。ハロウィンには母と子クラブの親子が保育園に出向き保育園の先生とゲームをし交流を図りました。これからも引き続き連携を図るよう努めていきます。



《地域との連携と子どもプランナー》

上新町、大新田、小牧原街道の区長様のご協力をいただき、いつ起こりうるか分からない地震に備え、3地区合同の消防訓練を実施し大勢の方に参加していただきました。またプランナーの子ども達も町内のお祭りに参加し地域の活動として、館内の行事に限定せず外にも発信することができました。



《小中学生との関わり》

低学年の常連の子ども達が多く、高学年、中高生は部活や習いごとで忙しいのか、日によって利用が違います。長時間滞在しても、子ども達があきないよう、遊びの工夫に心がけ普段の工作のほか「月別の工作」作ろうチャレンジなどであそびの体験、ものづくりの楽しさを通し興味や好奇心を持って体験できるような工作の提供をしています。

また、ゆっくり子ども達とかかわり接することで、職員と子ども達の関わりも深まっています。高校生の学習室への利用も浸透しつつあります。

《ニーズにあったイベント》

母親の信頼関係を大切にしながら、ニーズにあった取り組みとして2歳児対象の親子リトミック・親子でイングリッシュ、新しい企画として5歳児対象の「あそびの広場年中組！」では友達と一緒に遊び、その中でルールを身につけていく活動をします。



小牧南児童館の現状報告

◎ 心あたたかい児童館をめざして

- (1) 季節感のあるイベントや遊びを通して
 - 伝統的な行事への取り組み
 - 同年齢・異年齢での遊びや交流を重視
 - 年齢に見合った工作の提供



- (2) クラブや広場の充実
 - クラブ活動の充実（母と子、運動、体育）
 - 広場の充実（1歳児の広場・年中組）
 - 子育て支援室の担当職員による、きめ細かな対応
 - 子育ての相談・情報発信
- (3) 地域との連携
 - 保育園、小中学校との関り
 - 健全育成会議参加・体育大会見学
 - 問題行動等の指導や連携
 - 南部コミュニティ運営委員会との関り
 - 館だよりによる情報発信
 - （保育園、小学校、中学校、子供会）
 - 母親クラブ役員と連携してイベント運営



平成26年度 北里児童館 (愛称:きたっこはうす)

「あそびを通して仲間作りを。地域との繋がりを大切に。」



【1】社会性の伸長

- ・ 同年齢・異年齢集団あそびの支援
 - ↳ 様々なおもちゃのあそび方やゲームのルール等の説明
- ・ クラブ活動の充実
 - ↳ 母と子クラブ、運動あそび、体育あそび、ハンドメイド、クッキング
 - 27年度からクラブ予定の「あつまれ年中組」の自由参加教室
 - 講師による英語リトミック・運動・体育教室、陶芸、料理教室



【2】ふれあえる場の設定

- ・ 交流しあえるイベントの企画
 - ↳ 夏祭り、ハロウィン、子ども忘年会、新年お楽しみ会
- ・ 手作りによる遊具やゲームの提供
 - ↳ 今月の遊ぼう・作ろう レクキッズ 木工教室、父親と遊ぼう、



【3】子育て支援

- ・ 子育て支援室でのニーズに対応
 - ↳ 保育図書コーナー設置、広場の開催時間の延長
 - 支援室常勤職員との関わり、ベビーキープ設置
- ・ 子育て関連の情報発信
 - ↳ 保育関係の市の取組みの紹介、各種団体チラシの展示
 - ディスカッション形式の歯科相談、ベビーマッサージ



【4】地域連携

- ・ 保育園、小学校、中学校との関わり
 - ↳ 保育園 園児の子育て支援室の団体利用
 - ↳ 小学校 児童クラブの団体利用
 - ↳ 中学校 ジュニア奉仕団の活動・特別支援学級への支援
- ・ 地域の団体との関わり
 - ↳ 児童デイサービスNPO法人の団体利用
 - 発達支援グループの団体利用
- ・ 館だよりによる情報発信
 - ↳ 幼稚園1園、保育園3園、小学校2校、中学校1校、図書館
 - 北里児童クラブ、区長から地域へ回覧、子ども会14団体
- ・ 母親クラブ役員と連携してイベント運営
 - ↳ AED講習 ステンドグラスアクセサリ講習
- ・ 学校行事の職員参観
 - ↳ 運動会、体育大会、学校公開、健全育成会議、学校評議委員会 文化祭



【5】その他



H26 年度 小牧市西部児童館 現状報告

基本方針

- 1、地域の発展に貢献します
- 2、安心・安全な居場所を提供します
- 3、あらゆる人にとって学びのきっかけを発信し続けます
- 4、多様化するニーズに対応します
- 5、コミュニティセンターとの一体施設として世代を越えた交流の場を創出します

【子育て支援】

- 子どもの成長に合わせた活動の場の提供
- 子育て親子の交流の場をつくる
- 居心地の良い空間をつくる



ベビーマッサージ



リトミック

・ひよこ広場	週 1 回
・ちびっこ広場	週 2 回
・お話広場	週 2 回
・読み聞かせ	月 2 回
・リトミック	月 1 回
・ベビーマッサージ	年 3 回
・育児相談	年 4 回

【遊びを通じた子どもの育成】

- 日常的な遊びを通して（工作、遊具等）
- クラブ活動（「母と子」「ボールあそび」「運動・体育あそび」「お絵かき」「クッキング」）
- 行事（七夕、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、ニューイヤーフエスタ等）



クッキングクラブ



消防署見学（母と子クラブ）



夏祭り

【地域との連携】

- 運営協議会との合同イベント開催（夏祭り、防災フェア、ハロウィン、ニューイヤーフエスタ）
- 地域ボランティアとの交流（ゆう友カレッジ～子ども文化講座～等）
- 館だよりを通じた情報発信
- 小中学校との連携（総合学習の受け入れ、ジュニアボランティアの活躍）



「ハロウィン」で地域ボランティアと交流



ゆう友カレッジ



地域貢献活動



①地域ぐるみでの運営

地域運営協議会を設置し、区長、地域有識者、学校関係者、行政、指定管理者と共に児童館の運営内容を協議し評価をいただいています。地域運営として児童館を運営したことによる効果としては、ア) 顔の見える人間関係づくり イ) サポーターづくり ウ) 催事の協力関係づくり エ) 学校との連携づくり オ) 子育てを軸とした支え合いネットワークづくり、として現れてきています。

②多世代での子育て支援

子育て支援について、相談内容を強化しました。また、多世代で子どもを育てる環境づくりを進めてきました。父親の子育てへの参加、祖父母の孫育て支援など多様な子育て支援が求められています。お母さん同士のママ友づくり支援も進めています。今まで児童館で行われてきた講座に加え、**産後ヨガ**をはじめました。子どもの成長に合わせた講座を用意し、また土日には家族で参加できる講座を開催しています。他には、お母さんも子どもと共にストレス解消のできるダンスビクスを取り入れたり、親子で学べて遊べる企画【**えいごであそぼ**】も好評を得ています。このように多様な子育て支援を展開する中で地域サポーターの協力や、講師紹介等、地域の多世代で子育て支援をしています。

③中高生の居場所

中高生の居場所には何が必要なのか、学習をする場所、音楽やダンスなど表現活動出来る場所、友人と過ごす場所、ボランティア活動の場所として、また学校とも連携し部活動の発表場所の一つとして展開しています。夜間運営を行うこともあり中学生は19時まで、高校生は21時まで利用し、特に学習室の夜間利用は、高校生が多数を占めています。音楽室は夜間や休日に多く利用されています。

④多文化共生

日系ブラジル人は多く暮らされています。児童館では館便りの翻訳、児童館での通訳、ポルトガル語母語講座、インターナショナルあそびを開催しています。職員に日系ブラジル人が勤務して、児童館における多文化共生を展開しています。

⑤社会教育の展開

- ・地域ぐるみで学び育ち合う行事を催しとして展開しています。
- ・12月には地域の音楽家を講師にコンサートの開催、9月と2月には大人向け夜のコンサート、1月にはおもちゃつき、3月地域ぐるみでのわらべかんまつりを開催。
- ・11月3日にはバンブーロックフェスとして、大草地域のバンブーインスタレーションに相乗りし、田圃の中でロックの音を響かせました。児童館としてアート作品づくりにも参加し親子や小学生と共に田んぼにアート作品を作りました。
- ・クリスマスコンサートでは、中高生で編成されたJAZZのビッグバンド「フリーヒルズジャズオーケストラ」に来てもらい、地域の中学校吹奏楽部と一緒に出演することが出来ました。このように、地域の中高生や大人もイベントに巻き込み、感動を分かち合い共に成長しています。
- ・独自のホームページにて、利用者への案内や活動の発信を行っています。



産後ヨガの様子



人形劇を親子で楽しむ様子



えいごであそぼ ハロウィンパーティー



地域のイベントに参画・バンブーロックフェス



インターナショナルあそびの様子



クリスマスコンサートの開催